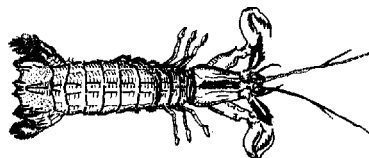
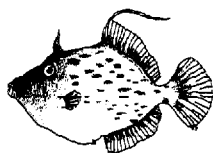
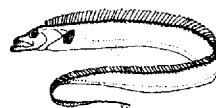
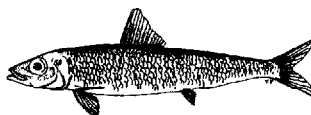


水俣病 10 の知識

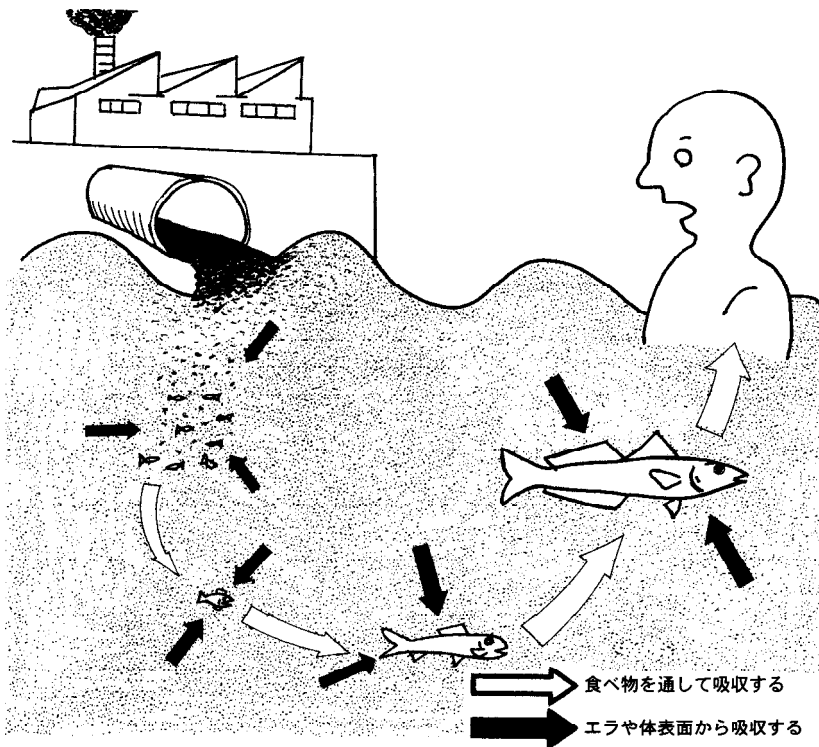


水俣病は、過去に目を背けることなく、学び、知ることによって、環境や健康の大切さなど私たちの暮らしのありかたについて教えています。

水俣病という事件を二度と繰り返さないためにも、水俣病についてよく質問されることがらを簡単にまとめました。

この小冊子が、水俣病を理解していただくためにお役に立てば幸いです。

1 水俣病はどのような病気ですか？



メチル水銀蓄積のメカニズム

水俣病は、工場排水中のメチル水銀に汚染された魚や貝などをたくさん食べることでおこったメチル水銀中毒です。空気や食物を通してうつる伝染病ではなく、遺伝することもあります。水俣病は1956年（昭和31）に公式確認され、1968年（昭和43）に国がチッソ株式会社（以下チッソ）による公害と認めました。

体内に入ったメチル水銀は、主に脳など神経系を侵し、手足のしびれ、ふるえ、脱力、耳鳴り、目が見える範囲が狭くなる、耳が聞こえにくい、言葉がはっきりしない、動きがぎこちなくなるなど様々な症状を引きおこします。水俣病の発生初期には、狂ったような状態や意識不明になって、発病から1カ月以内に亡くなるといった重症者もいました。

また、見た目にはわからなくても、頭痛や疲れやすい、においや味がわかりにくい、物忘れがひどいなどの症状で、日常の暮らしに困る慢性型の患者もいます。汚染された魚を食べた母親の胎内でメチル水銀に侵され、障害を持って生まれた胎児性水俣病患者も発生しました。

水俣病の根本的な治療法は今のところ見いだされていないので、それぞれの症状に対する対症療法や機能訓練などがおこなわれています。身体的な被害の他に、水俣病に関係して差別を受けるなどの社会的な被害もおこっています。

2 水銀とはどのようなものですか？



奈良の大仏

水銀と人間の出会いは古く、よく知られるところでは、奈良の大仏の金メッキや江戸時代の薬やおしろいに水銀が使われています。他にも日本の各地にある地名の丹生（にう）などは、古くから使われた水銀の産地をあらわしています。

水銀は無機水銀、有機水銀に分けられ、無機水銀に分類される金属水銀は、けいこ灯、乾電池、体温計など私たちの身近なものに使われています。

水俣病を引き起こしたメチル水銀は、有機水銀の一種です。その形態は、白い粉末で温泉のイオウのようなにおいがあります。メチル水銀は、胃腸から吸収されやすく、血液に入って肝臓や腎臓はもとより、脳や胎児にまで運ばれて蓄積し、人体に大きな障害を与えます。

3 水俣病患者は何人いますか？



水俣病犠牲者慰霊式

水俣病の認定申請をした人は、熊本・鹿児島両県合わせて（以下、数字は全て両県の合計です）のべ17,000人以上になります。そのうち行政によって認定された患者は2,264人、うち死亡者1,408人（2000年10月31日現在）です。また、1995年の水俣病未認定患者救済のための政府解決策に基づいて、チツからの一時金支給の対象になった人は10,353人です。よって今のところ公的に水銀の影響が認められた患者は12,617人と言えます。しかし、これ以外に、公式確認以前に亡くなった人や死亡者で認定申請も医療事業への申請もできなかった人、様々な事情で申請しなかった人もいるので、被害を受けた人の正確な数はわかりません。

チツによる水俣病患者以外に、1964年（昭和39）には、同じ製造方法をとっていた昭和電工株式会社による水俣病の発生が新潟県の阿賀野川流域でも確認されました。世界でも、工場の水銀汚染による健康被害が中国の松花江やカナダで報告されています。また、近年、アマゾンやタンザニアで川や湖の水銀汚染により人体への影響が心配されています。

4 チッソはどのような会社だったのですか？



明治に作られたチッソ旧工場

チッソは、明治の終わりに水力発電の会社としてスタートしました。その電気を利用してカーバイド工場を作り、やがて化学肥料の生産を始め、日本にとって重要な化学会社として成長しました。

チッソの発展は水俣のまちの発展でもありました。水俣は人口が増え、熊本県下でも有数の工業都市となり、元工場長が市長を務めるなど、地域に対するチッソの影響力や住民のチッソへの依存度も大きくなりました。

チッソは化学肥料のほか、酢酸、塩化ビニールやその成形に必要な可塑剤（かそざい）の生産に力を入れ、戦後も日本の高度経済成長を支える企業の一つとなりました。

大正時代からチッソ工場排水による海の汚染は、たびたび問題になっていました。しかし、チッソは1932年（昭和7年）から1968年（昭和43年）まで、酢酸や塩化ビニールの原料となるアセトアルデヒドを作るときに触媒として無機水銀を使用し、その過程でメチル水銀が副生され、1966年（昭和41）まで、ほとんど無処理のまま海に流しました。

チッソは工場排水が水俣病の原因とわかってからも、操業中止などはしませんでした。最初の水俣病裁判の判決の中で、このような企業倫理の欠落は厳しく批判されました。

5 現在のチツソはどうなっていますか？



チツソ製品

チツ株式会社は、本社を東京におき水俣工場のほか千葉県や岡山県に工場を持っています。チツ水俣工場の主な製品は、液晶、保存料、保湿材、化学肥料、合成樹脂などです。従業員は約660人（2000年9月現在）を数え、今でも水俣では主要な企業です。

チツは水俣病の原因企業として大きな賠償責任を負っています。1975年（昭和50）以降経営が悪化し患者などへの補償金の支払いができなくなるおそれが出てきたため、1978年（昭和53）から国や熊本県は県債発行を通して金融支援を行ってきました。発行された県債の総額は2000年（平成12）3月末現在、約2,568億円にのぼり、そのうち約1,611億円を今後、チツは県に返済することになっています。

チツ県債の種類と金額

県債の種類	金額（利子を含む） 2000年3月現在）	目的・備考
患者県債	約1,640億円	認定患者への補償金の支払い
ヘトリ県債	約688億円	水俣湾水銀ヘトリ処理・埋立工事費用
設備県債	約120億円	チツ経営立て直しのための設備投資資金
一時金県債	約120億円	政府解決策による未認定患者への一時金支払い （12.2貸付金の85%相当額を償還免除後）
合計	約2,568億円	

6 水俣湾はどうなっていますか？



水俣湾埋立地（エコパーク水俣）

水俣湾に堆積した水銀ヘドロのうち、水銀濃度が25ppm以上のものについて、熊本県が14年の歳月と485億円という巨額の費用をかけて、一部しゅんせつ一部埋立工事をおこないました。その結果、水俣湾には58ヘクタールの埋立地が生まれました。水俣湾の水質は、海の透明度や汚れの度合いでは熊本県でもきれいな海のひとつに数えられ、泳いだり遊んだりするには何も心配はいりません。湾内の魚については、県が1974年（昭和49）に汚染魚の拡散防止と県民の不安解消のため、水俣湾入り口に仕切網を設置し、漁協の協力により湾内の魚の捕獲をおこない、捕った魚はチツが買い上げ処分していました。

水俣湾の魚介類の水銀値は、1968年（昭和43）にチツがアセトアルデヒドの生産を停止してから下がりに続け、熊本県の調査で1994年（平成6）10月には、平均値で国が定めた暫定基準（総水銀0.4ppm、メチル水銀0.3ppm）を超える魚種はいないことが確認されました。このため、1997年（平成9）7月、熊本県知事が安全宣言を行い、10月には仕切網が撤去されました。魚の安全性については、水俣湾の魚も他の海域と同様になったといえます。

撤去後は、水俣湾の魚介類水銀調査が、3年間にわたり年2回ずつ行われました。大規模な環境破壊を経験した、水俣の海と地域住民の健康に関するデータは、水俣病の教訓として広く世界に伝え、生かしていくことが求められています。そのためにも、長期的な監視が望まれます。

7 患者の補償はどうなっているのですか？



1996年、患者団体とチツソの協定調印式

1973年（昭和48）3月の水俣病裁判で患者勝利の判決があり、その後の自主交渉をもとに、同年7月患者とチツソとの間に補償協定が結ばれました。この協定によって、認定患者に対しチツソから慰謝料として1600～1800万円の一時金が支払われています。そのほかに年金・医療費・医療手当・介護費・葬祭料・温泉治療費・はしか治療費などが支払われています。また、チツソが積み立てた基金の利子で、おむつ手当・介添え手当・香典・マッサージ治療・通院のための交通費などが支払われています。

熊本・鹿児島両県は水俣病総合対策医療事業により、認定申請中でない人で四肢末梢優位の感覚障害がある、魚介類の多食が認められるなどの要件に該当する人に、医療費の自己負担分と療養手当（月額17,200～23,500円：2000年11月現在）を支払っています。

1995年（平成7）の政府解決策により、医療事業の対象者及びそれと同等と見なされた死亡者は、今後補償を巡る紛争を起こさないことを条件に、1996年（平成8）チツソと協定を結び、一時金260万円を受け取りました。

8 患者は何を求めてきたのですか？



水俣病の語り部として活動する浜元二徳さん

水俣病が発生してから、40年以上が経ちました。水俣病患者にとってこの40年間は、苦難と闘いの連続だったと言えます。チツや行政に対する裁判や交渉で患者が求めたものは、水俣病を起こし、患者を放置した責任を認め、人間として心から謝罪せよということでした。そして、被害の実態をあきらかにし、速やかに救済することを要求してきました。また地域社会から孤立させられたときに強く訴えたのは、患者も同じ市民、同じ人間であるということでした。

水俣病は根本的な治療法が望めません。患者の多くは、痛みを取るための対症療法や、機能回復のために病院に通うことが日課となっています。また高齢化により、自宅や施設で介護を受けながら暮らしている人も増加しています。患者の「地域で安心して暮らしたい」という願いは、高齢化社会の中で水俣病であるなしに関わらず地域の共通の課題となっています。

あた！前のことですが、からだが動く人たちは、毎日自分のできる仕事をしています。農作業や漁は重労働ですがリハビリテーションにもなっています。会社に勤めている人もいます。それぞれの人々が、自分の水俣病と何とか折り合いをつけながら暮らしているのです。しかし、世間には水俣病に対する偏見や無理解がまだに残っており、患者が親類や家族にも水俣病であることを隠しているケースがあります。一方で、水俣病をくり返してはならないという思いから、自分の水俣病を語り、次の世代に水俣病の経験や教訓を伝えたいと行動をしている患者もいます。

物質的な豊かさを求め、自然とのつながりを壊していったときに犠牲になった人々のことを忘れず、これからどうしていったらいいのかと考え続けることが、水俣病患者が私たちに求めていることではないでしょうか。

9 もやい直しとはどのようなことですか？



もやい船

もやいとは、もともと船をつなぐことや共同でことを行う意味です。人と人との関係、自然と人との関係がいったん壊れてしまった水俣で水俣病と正面から向き合い、対話し協働する取り組みを「もやい直し」と名づけています。

水俣病が発生した当時、水俣病患者は伝染病や奇病と疑われ、近所づきあいを断られるなど大変つらい思いをしました。その後、原因がチツの排水中の水銀であることがはっきりしても、チツに頼る市民から、患者は裁判や補償でチツをおびやかす存在としてうとまれてきました。

また、認定申請した患者の中に「ニセ患者」がいるとの、あらぬうわさも流されるなど、補償金にまつわる差別やいやがらせも生まれました。水俣市が経済的に依存してきたチツが原因で水俣病が発生したり、チツの大きな労働争議も重なったため住民間の対立が激しく起こり、立場が違う人とは対話が途絶えた状態が長く続きました。

しかし、近年そうした過ちを乗り越え、対立からは何も生まれません」ということに気付いた行政・市民・被害者は、対話や催しを積み重ねながら水俣の再生に向かって行動しています。

10 水俣病が私たちに教えるものはなんでしょうか？



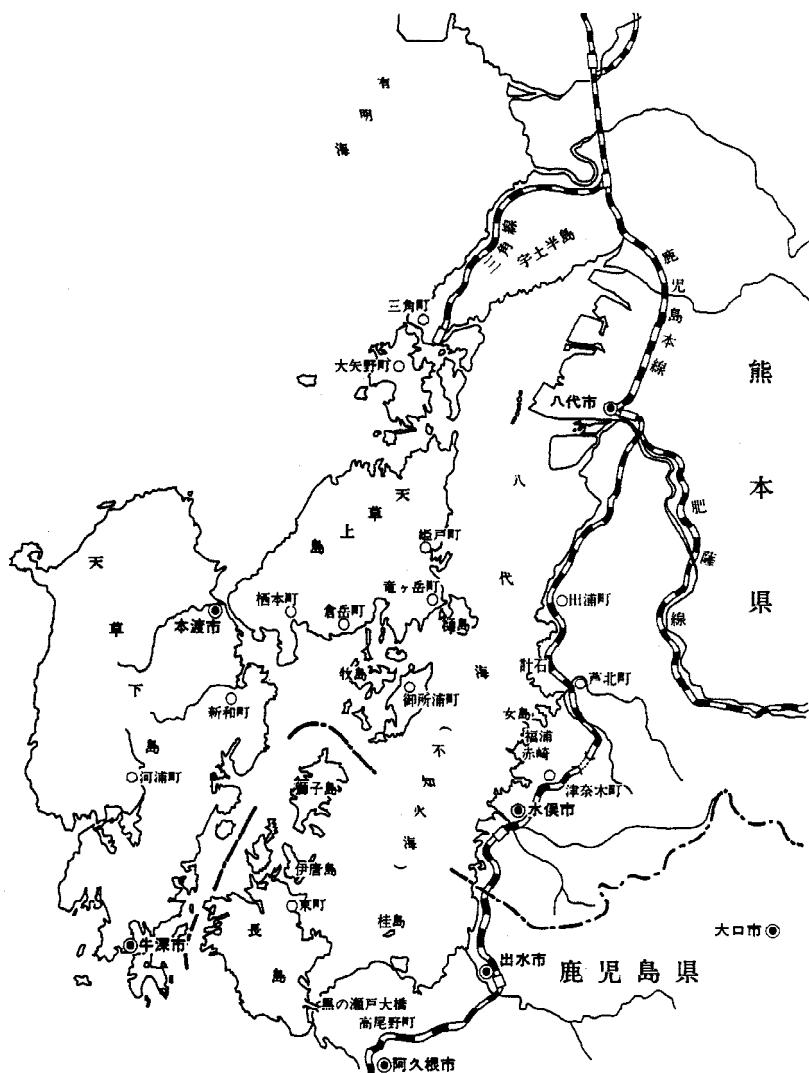
住民による、資源ごみ23分別収集

水俣病は、チツが流した化学物質という産業廃棄物が水を汚染し、汚染された魚を食べることによっておき、人々の対立も生み出しました。

このことから水俣は、生命の源である「水」と「食べ物」がいかに大切なものであるかを学びました。そして、家庭や事業所から出すゴミは、自然を損なうものであってはいけないことを知りました。

大量生産、大量消費、大量廃棄によって、私たちの暮らしは便利で豊かになりましたが、排気ガス、農薬、食品添加物など、様々な有害物質に取り囲まれ、環境や健康破壊の危険にさらされています。私たちの、物質的に豊かな暮らしは、世界の国々との関係を抜きにしては考えられません。水俣病は私たちに被害者であると同時に、加害者でもあることを教えています。

水俣病は、自然を壊さず、自然によって生かされているという考えにたって暮らしていくこと、人や川や海などの関わりや安全な食べ物について考え、家庭のゴミや産業廃棄物の減量化・サイクルについて取り組むこと、地域の問題から目をそらさず向きあっていくことの大切さも教えています。



水俣病10の知識

制作： 水俣市立水俣病資料館
0966-62-2621

水俣病歴史考証館
0966-63-5800

写真協力： 山本達雄
肥前博行
国立水俣病総合研究センター

発行： 1994年 11月 初版
1997年 9月 改訂
2001年 1月 改訂